

フール安全管理マニュアル

— 安全管理を徹底するために —

平成28年4月

岩出市立上岩出小学校

はじめに

体育活動の一環である水泳指導は、子どもたちに水の中で活動する楽しさを味あわせると同時に、子どもたちの体力・泳力・運動能力の向上を図り、また水の危険性から身を守る力をつけさせ、多様な環境の中で安全に生きる力を育む大切な活動である。

学校において、授業における水泳の学習指導や夏季休業中の水泳指導などの充実を図るため、教職員間で共通理解を徹底するなど、計画的・組織的に安全な水泳指導に取り組まなければならない。

子どもたちにとってより一層の安全な場所とするため、一人ひとりの教職員が、日々の実践の中で、子どもたちの命を守るという使命を深く自覚し、不断に努力していかなければならない。すべての教職員が万全の体制で臨みたいと考える。

— 目 次 —

- 1 水泳指導の安全管理の徹底
 - (1) 児童の健康管理
 - (2) 授業における指導・監視について
 - (3) 注意を要する児童に対して

- 2 プール施設の安全・衛生管理
 - (1) プールの管理・点検
 - (2) 水質管理

- 3 緊急時対応マニュアルの作成

- 4 教職員研修の実施

1 水泳指導の安全管理の徹底

(1) 児童の健康管理

水中での運動は、体力を消耗する全身運動となり、児童の体調によって、事故につながる要因が常に潜んでいると考えなければならない。そのため、健康診断や日頃の健康観察を通じて、児童一人ひとりの健康状態を把握し、学校医等と相談して、水泳指導の可否や指導上の制約条件などをきちんと把握しておかなければならない。

① 定期健康診断の結果の活用

年度当初に実施する健康診断の結果を活用し、病状によっては水泳の可否等を主治医に確認してもらうなど、受診結果を把握しておかなければならない。

② 学級担任による健康観察

学級担任は、児童の訴えや授業中の様子など、児童の健康上の不調を早期発見し、気になる様子が見られるような場合、養護教諭などと連携し、適切に対応しなければならない。

③ 保健室での健康情報の活用

保健室の健康診断票、けがや病気の記録など、児童の健康に関する資料を活用し、職員会議で健康に注意が必要な児童の情報を他の職員に伝え、共通理解を図ることが大切である。

④ 水泳前の健康管理と指導

水泳指導に参加するために必要な児童の身体の清潔、衛生面に関する次のような注意事項について、児童・保護者に正確に伝えることが必要である。

- 十分な睡眠をとり、朝食を食べ、排便してから登校すること。
- 耳垢の掃除やつめ切りの確認等

⑤ 健康チェックカードの活用

当日の健康状態を正確に把握するため、「健康チェックカード」を作り、異常の見られる児童には、水泳指導に参加させないよう十分に注意することが必要である。

⑥ 入水時の指導内容と注意事項

《シャワーの使い方》

- 足に当ててから、下半身・上半身へと水が当たるようにする。

《プールへの入水時》

- 入水前に準備運動を入念に行うこと。
- 最初の入水の際には、体の端の方から徐々に中心部に向かって濡らしていくこと。
 - ※ 両足 → 両腕 → 顔 → 頭 → 背中 → 腹・胸
- 全身が濡れたところで、足先からゆっくりプールに入る。
- 最後に一度、顔を含めて全身を水に沈める。

⑦ 水泳中の健康観察

水泳中の児童一人ひとりの様子を注視し、子どもの様子に変化がないか、顔色や唇の色、せきやくしゃみの有無などを確認することが必要である。少しでも不調が感じられた場合は、速やかに水泳学習を中止させ、着替えさせるなど、迅速・適切に措置しなければならない。

(2) 授業等における指導・監視について

教職員は、プールでの水泳指導には事故の危険性が潜んでいることを常に意識し、児童の健康状態や顔色や様子、危険な行動などを注視し、わずかな異常も見逃すことのないよう、適切に観察を怠らないことが必要である。

特に、注意を要する児童が入水する場合には、教職員を増員するなど、安全管理を徹底することが大切である。

：

：

監視の基本

- ① 常に水泳中の児童を見渡し、監視を怠らないこと。
- ② 指導中は、教職員全員が入水して指導することのないようにすること
- ③ 常に付き添いの必要な、注意を要する児童が遊水する場合、全体を担当する教職員とは別に、必ず当該児童を担当する教職員を決めて傍を離れることなく監視にあたること。

主な留意事項

- ① 教職員は全員水着を着用し、常にホイッスルを携行すること。
- ② メガフォンや AED 等の配置場所を確認し、教職員全員が情報を共有し、速やかに任にあたれるようにすること。
- ③ 静止した状態や水中に潜ったままやうつ伏せになった児童がいなか常に注意し、少しでも異常を感じた場合、躊躇することなくホイッスルで他の職員に知らせると共に、現状を正確に確認すること。
- ④ 異常を発見した場合、プール内に入水すること。
- ⑤ プール内やプールサイドにおいて危険な行為を発見した場合は、速やかに注意・指導を行い、危険行為をすぐに中止させること。

(3) 注意を要する児童に対して

障害のある児童や、健康診断によって呼吸器疾患など制約される児童は、次のような指導にあたっての配慮方法について十分に考慮することが必要である。

基本的な事項

- ① 水泳キャップを目立つ色にしたりと、指導中の見落としがないようにすること。
- ② 体格や泳力に応じてヘルパーなどの補助具をつけさせるなど、安全に活動できるように注意すること。

主な注意事項

- ① 注意を要する児童に対しては、全教職員が情報を共有し、水泳指導の前に参加状況を確認し、必ず水泳指導の前後、水中でも、しっかりと健康観察を行った上で指導することが必要である。
- ② 指導にあたっては、保護者、養護教諭、学校医等との連携を密にして対応することが大切である。

2 プール施設の安全・衛生管理について

(1) プールの管理・点検

学校プールは、屋外型で日照りや風雨などの影響を受けやすく、点検・修繕を欠かすことのできない施設である。また、自然の浄化作用のない閉鎖された場所であるため、感染症の伝染しやすい条件にあたるなど、ろ過装置を適切に使用しつつ、塩素剤による消毒をおこなわなければならない。そのため、日頃からプールの点検を行い、安全・健康な水泳学習のために、主に次のような点を中心に良好な学習環境を維持するように努めることが大切である。

<プールの管理・点検事項>

① 施錠の確認

- プール出入口の鍵の開閉や機械室の施錠の確認。

② 附属設備の確認

- 更衣室やシャワーの衛生状態や破損箇所・ろ過装置の運転状態などの点検。

③ 異物の点検

- プール内の浮遊物や沈下物などの有無の点検

④ プールサイドの点検

- プールサイドの破損状況や滑りやすい場所がないか等の点検

⑤ 水質の管理

- 遊離残留塩素濃度や水素イオン濃度などの水質検査や薬剤の投入による水質の管理

⑥ 排水口の点検

- ネジの緩みなども含め、排水口の蓋の点検

⑦ 用具類の管理

- コースロープやビート板などの用具の保管・管理
必要以上にプールサイドに置かない

⑧ 水位の計測・確認

- 水位を正しく計測し、最深部・最浅部を確認すること

これらについては、水泳指導に関わる全職員が分担し、プール日誌に記録するとともに、情報を共有、点検・確認することが大切である。

(2) 水質管理

① プール水の遊離残留塩素濃度 (0.4mg/l～1.0mg/l) の保持

- ・ プール使用30分前に遊離残留塩素濃度の測定(4点計測)
- ・ プール使用中は、一日に1回計測すること

② プール水のイオン濃度 (pH値5.8から8.6)

- ・ プール使用前に1回測定する

③ 透明度の保持

- ・ 水中で3m離れた位置からプール側面が明確に見える程度に保たれていること。

④ シャワーによる減菌・洗浄の徹底

- ・ シャワー等による十分な洗浄で代替すること
- ・ 用便等により再入場する際にも、シャワーを徹底すること。

⑤ 循環ろ過装置の機能保持

- ・ 原則として24時間連続運転すること。

- ・ プール使用時は、圧力計の差などを見て、ろ過能力の点検を行うこと。

⑥ 異物の有無の点検

- ・ プール使用前後は、プール内及びプールサイドの異物等を確認すること。

★ 学校薬剤師との連携

水泳学習の実施期間中（使用日の積算数が30日以内ごとに1回）は、学校薬剤師による水質検査を行わなければならない。

また、日常点検の中で、水質状態に異常が見つかった場合は、学校薬剤師や保健センターなどの関係機関に相談の上、迅速に使用中止や浄化等に取りまなければならない。

3 緊急時対応マニュアル

① 事故発生時の対応心得

- 突発的な緊急事態が発生した場合に、教職員が協力し合い、冷静・かつ迅速な対応が取れるようにするための心得について。

② 発見から搬送・救急救命・119番通報の手順・役割分担、校内の連携

- 事故者の発見から確保、運搬の方法、心肺蘇生・AED使用の方法、119番通報に至る役割分担・連携の方法について。

③ 他の児童への対応内容・役割分担

- 事故者以外の児童を迅速に安全な場所に誘導し、適切な指示を与える手順について。

④ 心肺蘇生法・AED使用の手順・内容

⑤ 保護者等への緊急連絡方法・手順

- 事故者の保護者への緊急連絡、事故者以外の他の保護者全体への連絡内容・方法について



